

経済倶楽部便り

◆東京◆ 事務局には創刊以来の『経済倶楽部

講演録』があります。圧巻は太平洋戦争に至るまでの戦前の講演集で、政治や経済に関する歴史的資料の宝庫です。ただ意外な有名人の講演も目を惹きます。たとえば、昭和15年7月には欧州大戦の切迫で帰国した画家の藤田嗣治氏が講演しています。パリにドイツ軍が迫るに及んで、田舎へ逃げる人が続出。デパートでは宝石や貴金属類が急騰しても売れたといった戦時下のパリの様子など興味深い話をしています。

7月の入会者（未掲載分）は山田健彦・内藤証券常務執行役員、大野滋・双日総研社長、近

藤敏貴・トーハン社長、川上浩明・トーハン副社長、上原忠・武蔵野銀行執行役員東京支店長、金子真之・武蔵野銀行人事部秘書室長、(株)ウイルの宮澤均氏の方々です。

10月の講師は飯尾潤・政策研究大学院大学教授、野口悠紀雄・早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問、唐鎌大輔・みずほ銀行チーフマーケットエコノミスト、米国弁護士湯浅卓氏を予定しています。

◆中部◆ 8月は通常休会ですが、特別講演として経済評論家の杉村富生氏が来名。証券市場については自民党総裁選、米中貿易問題などの課題解決前提に10月以降復調とのことでした。

10月の講師は歳川隆雄・インサイドライン編集長、吉川洋・立正大学教授です。(日暮良一)